

教 具 名	時間が見える時計
対象児童生徒	高等部標準学級
制作のねらい	● アナログの時計の学習に使う教材 ● 数字の時間と時計の文字盤を関連づけるたいと考え、おはじきとパズルを組み合わせた本教材を製作しました。
使用法 及び 効 果	● 円盤を 12 等分したピースが 5 分を表している ● “60 分”分のピースをあわせると時計一周と 60 分が同じ意味であることを理解できる ● たとえば「15 分は？」と発問しパズルを選ばせる（この場合正解は 3 つ） ● これを時計盤にあわせてはめ込む ● 15 分という時間が視覚的に時計の上でどれぐらいなのかわかる。 ● 別な利用法としてたとえば「50 分から 15 分後は？」などと発問しする。50 分の場所に針の模型を置きそこからパズルを置き始める。12 を超えたら裏返す。裏返した分のみを数えることで 65 分ではなく 5 分であることがわかる。
作り方	1. スチロール板を丸くくり抜く 2. 円盤に色画用紙を貼る 3. 円盤を 12 等分する 4. これを色違い二セット制作する(一時間以上の時間を扱う場合) 5. くり抜いたあまりの板を適度に切る 6. 文字盤を貼り付けた厚紙に 5. を貼る
使用に際しての 留意点・ その他	・ 制作する際、発砲スチロール板の断面が鋭利になってないか注意する(丸く加工すること)。 ・ 事前学習として、5 や 10 など数をまとめることを学習するとより効果的だと思います。
教材・教具写真	・ 